

環境影響評価調査計画書審査意見書

「(仮称) 下宮比町地区第一種市街地再開発事業」環境影響評価調査計画書（以下「調査計画書」という。）について審査した結果、東京都環境影響評価条例（昭和 55 年東京都条例第 96 号）第 46 条第 1 項に規定する意見は、下記のとおりである。

東京都知事
小池百合子
(公印省略)

記

第 1 対象事業

- 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地
名称：下宮比町地区市街地再開発準備組合
代表者：理事長 比嘉 秀年
所在地：東京都新宿区揚場町 2 番 27 号
- 対象事業の名称及び種類
名称：(仮称) 下宮比町地区第一種市街地再開発事業
種類：高層建築物の設置
- 対象事業の所在地
東京都新宿区下宮比町の一部

第2 意見

環境影響評価の項目及び調査等の手法を選定するに当たっては、条例第47条第1項の規定に基づき、調査計画書に係る周知地域区長の意見等を勘案するとともに、次に指摘する事項について留意すること。

【大気汚染 騒音・振動 共通】

本事業は、隣接する区域の開発計画と工事工程が重複する期間があることから、建設機械の稼働及び工事用車両の走行に伴う大気汚染及び騒音・振動への影響について、可能な範囲で他事業の影響も考慮して予測し、環境保全のための措置等を検討すること。

第3 その他

調査等の手法について、事業計画の具体化に伴い変更等が生じた場合には、環境影響評価書案において対応すること。